

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		年々、保護者アンケートでも活動スペースの広さは課題と感じています。安全管理をしながら広場などの外活動も取り入れて活動場所を活動内容によって変化させています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			規定上に問題なく、常勤最低3名以上を配置している。不定期にボランティアにも参加して頂いている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関に簡易スロープを準備しています。視覚支援として足型等も活用しユニバーサルデザインを意識しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDC Aサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか		○		職員間で疑問を持って、学び合える文化を作っていく事が今後の課題です。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一回以上、定期的に保護者アンケートを実施し、内容を把握、改善を行わせて頂いています。今年度よりネットアンケートを実施しました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	○			当事業所のHP上で毎年度、公表させて頂いています。また堺市独自の自己評価表も堺市HP内に公表させて頂いています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部からの見学者やボランティアなどの受け入れを行っています。外部からの意見や視点を聞かせて頂き、業務改善の機会と捉えて受け入れています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修参加だけでなく、他のデイとの勉強会なども設け、自ら考え、疑問を持てる学びを職員にはしてもらいたいと実践しています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			当事業所独自のアセスメントシートも作成し、御利用者様個々のニーズや聞き取りを行いながら、計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートで実施させて頂いています。また様々な検査方法など、日常の指導の中で活用できるものを実践の中で行ってまいります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子ども個々に応じて活動内容をその子の課題やニーズをスタッフが抱きながら関わり、アプローチさせて頂いています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎回、子どもと一緒に活動内容を決める為、固定化しません。固定化する子どもに関しては、本人と交渉して活動の幅を広げていけるようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日問わず課題は一貫して捉えつつも、学校の行事や今の本人のブームなどに応じ、個々の興味関心に合わせて日々、変化させています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別指導が基本ですが、個々の子どものニーズに応じて他の子どもとの関わりを持つ、集団化して活動するなど個別課題に合わせて対応しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で打ち合わせを行っています。子ども個々の最近の様子や保護者様からお聞きした情報などを共有。時間がなく難しい場合は管理者が個々のスタッフに言葉かけをして対応しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		勤務時間の関係もあり、必ずではありませんがスタッフ個々で指導の振り返りや反省を行い、フィードバック・共有をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動時に記録係を設け、指導内容をその場でPCに入力。活動内容の検証や次の指導に向けての情報源となっています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1回以上、モニタリングを行っています。保護者様に当事業所独自でモニタリング・アセスメントシートを記入して頂き、反映させて頂いています。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		メインは運動指導としつつも、活動の中で複数組み合わせりながら、本人の課題やニーズに合わせて実践させて頂いています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管だけでなく、スタッフにも参加してもらっています。その子どもに精通した最もふさわしい者が参加出来るようにスタッフ育成しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	保護者送迎の為、学校の情報保護者からの情報が主となっていますが、学校との情報共有は担当者会議などに積極的に参加し、図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	主治医等との連絡体制は整えられていません。てんかん発作、重度の食物アレルギー等がある子どもに関しては緊急時の対応を作成し、役割分担をスタッフでも共有しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	セルフプランの方が圧倒的に多く、保護者様の希望もあり、当事業所主催で担当者会議を開催させて頂いたケースもあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	来年度、高校3年生段階の児童がいる為、連携に関しては積極的に考えています。保護者様の要望に合わせての対応を考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		あい・さかい・サポーター研修を受け、身になる学びをさせて頂いています。研修などは積極的に参加させて頂いています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○	障がいのない子どもかの基準は図りかねますが、近隣に放課後児童クラブなどが無い事も理由です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	自立支援協議会に参加した事はありません。さかい放課後連絡会への参加は積極的に行っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		指導の中で見えてきた、運動面・コミュニケーション面・情緒面などをフィードバック時に保護者様に説明させて頂き、共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアトレを自事業所では開催出来ていません。その代わりに、保護者参加可能な研修会などの案内等を積極的に行っています。コロナ禍でもあり、オンライン研修なども紹介しています。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		報酬改定や人員配置変更の度に、料金説明をさせて頂いています。加算の意味などもご説明させて頂いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		管理者が主に対応させて頂いていますが、スタッフ個々にも対応してもらう機会が増えました。また不明な点は職員間で共有させて頂き、後日回答する等、対応させて頂いています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会はニーズが合わない為、開催していません。保護者様の個々のニーズに合わせて、保護者様の合意を得て、似たようなニーズの方同士を繋ぐ事を行わせて頂いたケースもあります。
	33	子どもと保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		マニュアルに則り対応しています。事象発生時当日中に窓口である管理者が迅速に対応させて頂いています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報等の紙媒体は発行出来ていません。週一回はブログを更新して、最新の情報を提供させて頂いています。LINE公式アカウントとメールを活用し、保護者様との連絡体制を設けています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		過去に人為的なミスがあった為、個人情報については、より十分注意を払って取り扱っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		手話が使えぬ職員もいます。また記載内容をそのまま読むのではなく、簡素化した言い方に変えて、その方に伝わるような工夫をしています。

非常時等の対応	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	事業所主催の行事は行っていません。近隣の施設との連携を図り、顔がわかるお付き合いをさせて頂いています。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	各種マニュアルは作成しています。保護者周知が課題です。見える化をすすめていきます。
	③9	非常災害の発生時に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	年2回以上の訓練を予定・実施しています。内1回は利用者も含めての実施を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	大阪府または堺市主催の研修に参加してきました。職員個々の意識を高めて、伝達講習で終わらない研修を検討しています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	計画書への記載が今後の課題です。個々への対応としてより適切な支援をめざし、事前予告や絵カードの活用などを行っています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	食物、おやつを提供を行っていないが、堺アレルギーの会と関わり、色々な繋がりを持って保護者様にも情報提供を行っています。
	④3	ヒアリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	○	毎年度終わりに昨年度のヒアリハットを集約し、事例集を作成し、職員で共有している。